

# CISS

College of Interhuman Symbiotic Studies

関東学院大学  
人間共生学部  
mini letter



## ・コミュニケーション学科

### 教養ゼミナールのProject Based Learning (PBL)開始

1年生必修の「教養ゼミナール」では、6月から7月にかけて外部の団体や企業の方々より提示された課題に取り組むプロジェクトを行ないます。2019年度は、SOMPO ホールディングス様、横浜観光コンベンションビューロー様、横浜ロイヤルパークホテル様のご協力をいただき、それぞれ「未来の介護」「MICE 領域におけるSDGsの先進都市となるには/横浜の知名度の向上」「少子化時代に婚礼部門が発展するための取り組みとは？」といった課題をいただきました。グループごとにそれぞれの業界や社会状況について調査し、7月には提案をポスター発表します。



## ラグビールール教室 (道幸ゼミ)

八景キャンパス3号館の食堂ローズステージにて、ラグビールール教室「ワールドカップを100倍楽しく観る方法」を5月29日(水)、6月26日(水)の12:30から開催しました。学内だけでなく、地域の方々や金沢区地域振興課の方も足を運んでくださいました。中には、70歳を越えてからラグビーに興味を持ち、もっとルールを知りたいということでおいでになった方や、ラグビーワールドカップを楽しく観戦したいというご夫婦も。7月24日(水)も開催予定です。ぜひご参加ください。

お問い合わせ：michiyuki.zemi@gmail.com



## 北京大学中文系にて中国語・中国文化研修

コミュニケーション・プロジェクト7 山田先生

5月10日～16日にかけて、本学部14名の学生が北京大学での研修に参加しました。本場で中国語を学んだ他、万里の長城や天安門、故宮、京劇も経験し、生の中国の文化や歴史を学習する機会となりました。事前学習で学んだ中国語を使い、果物を値切って買ったり自由時間には自分たちだけで実際にバスに乗ってスーパー(家乐福)に行くことなどを通じ、中国語コミュニケーション能力を高めることができました。



## ・共生デザイン学科

# TECART 八代監督とのストップモーション・アニメ制作

デザイン・プロジェクト13(淡野先生)では、映画「ノーマン・ザ・スノーマン」シリーズで知られるトップアニメーション・クリエイター八代健志氏率いるTECARATとの合同・集中演習授業を昨年に引き続き行いました。クレイ造形を主体としたコマ撮り映像制作に必要な造形・撮影技術を学ぶ他、CM・映像制作に関してのレクチャー、CMや映像業界へのリクルートについて必要なこと等、通常では学ぶことのできない第一線の監督による貴重な指導を受講しました。また現在、秋公開に向けて制作中である新美南吉原作ごんぎつねを題材とした「ごん」の制作現場の見学、7割ほど出来上がった本作品を特別に鑑賞させていただきました。



## カンボジアでのプロジェクト科目研修

人間共生学部では、3年次(5セメスター)に「プロジェクト科目」を履修します。デザイン・プロジェクト3(立山先生)では、カンボジアの絹織物を再生させる村を訪ねました。内戦で失われかけた伝統の技を世代を超えて伝承するとともに、絹織物に必要な自然素材(カイコ、桑の木、草木染めのための植物...)を取り戻す壮大なプロジェクトが進んでいます。学生達は村の訪問前に、カンボジアの社会、歴史、文化を調べ、村のプロジェクトの理念についても文献で理解を深めてから、訪問しました。現地では染めの体験の他、職人さん達に教わりながら、糸巻きやカゴ作りなど手仕事の奥深さを体験させていただきました。モノづくり、自然の恵み、村の人々の共同作業…。日本の生活とは全く違う体験から、学生達は多くを感じ、考え始めています。



## 関東学院大学人間共生学部ミニレター VOL.17

発行：関東学院大学 人間共生学部

刊行：2019年6月30日(日)

Web：<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/InterhumanSymbiotic/>

Twitter: KGU\_Com@twitter.com (コミュニケーション学科)

